

吉賀中だより

令和8年6月25日
吉賀町立吉賀中学校

令和8年度 学校教育目標

「バッテリー ～自他を大切にし、共に自らの可能性を広げる生徒の育成～」

梅雨の合間の青空に、生徒たちの元気な声と、授業や活動に打ち込む真剣なまなざしが光る季節となりました。去る6月9日・10日に行われた益田ブロック総体では、学校目標「バッテリー」の精神が試され、大きく磨かれた舞台となりました。試合の勝敗以上に私の胸を打ったのは、コートやグラウンドで戦う選手と、それを支える仲間、そして声を枯らして応援する生徒たちが、一つの大きな「バッテリー」として固く繋がっていたことです。自分の力を出し切ること、仲間のミスをカバーすること、最後まで仲間を信じること。これらの行動は、お互いの個性や良いところを認め合い、挑戦する気持ちを温かく支え合う「バッテリー」の関係があつてこそ生まれるものです。総体を通じて、生徒たちは「共にある」ことの強さと、思いを形にする尊さを、身をもって学んだのではないのでしょうか。

さて、6月も後半に入り、学校生活では「1 学期の締めくくり」という節目を迎えます。総体で得た自信や悔しさは、次のステップである学習、特に直前に控えた期末テストへと繋がっていきます。「^A当たり前^Bのことを、^Bばかにしないで、^Cちゃんとやる（吉賀中 ABC）」。

大きな行事を終えた今だからこそこの原点に立ち返り、日々の学習や生活の中にある「当たり前」を大切にしていきたいと思います。真剣に、丁寧にやり通すことで、普段気づかないことに気づき、見えないものが見えてくるはずです。

これからも一人ひとりが自分の役割を果たし、互いの可能性を広げ合える吉賀中学校であり続けたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、今後とも生徒たちの成長を温かく見守り、導いてくださいますよう、よろしくお願いいたします。

めざす生徒像
○誠実な生徒 【誠実】
○自ら行動できる生徒 【自主】
○新たな表現のできる生徒【創造】
○学び合い高め合う生徒 【連帯】

【特集】益田ブロック総体：激闘の記録

○野球部：接戦を制し、堂々の「準優勝」

野球部は、一戦ごとに結束を強め、見事な粘り強さを見せてくれました。準決勝（対 高津中学校）、初戦から白熱した展開となりましたが、7対4で勝利を収め、決勝進出を決めました。決勝（対 益田中学校）は県総体出場をかけた大一番で、最後まで勝敗のゆくえが分からない大接戦となりました。結果は2対3と、県総体出場に惜しくもあと一歩及びませんでした。最後まで諦めずに戦い抜いた姿は立派でした。



○バレーボール部：復活後、初の公式戦で「精一杯のプレー」

部員不足から復活を遂げ、吉賀・益田合同チームとして挑んだ初めての公式戦。コートに立つ姿そのものが大きな一歩となりました。

予選リンク第1試合（対 日原中学校）：セットカウント0-2で惜敗

予選リンク第2試合（対 中西中学校）：セットカウント0-2で惜敗

勝利には届きませんでした。が、「楽しかった」「持てる力を出し切り、精一杯がんばった」という部員たちの言葉通り、今後のチームの成長につながる、多くの収穫がある大会となりました。



〇ソフトテニス部:強豪相手に挑んだ「個人戦と団体戦」

個人戦・団体戦ともに、それぞれが今の実力を全力でぶつけました。

個人戦(9日)

男子 神谷・斎藤ペア、村上・一ノ谷ペア、安部・中村ペアが出場しましたが、いずれも1回戦で惜しくも敗退となりました。女子 石田・村上ペアが2回戦進出を果たす健闘を見せました。山田・道面ペア、長峯選手(オープン)は1回戦で敗退となりました。

団体戦(10日)

男子 益田中、津和野中、東陽中と対戦。東陽中から1勝を挙げましたが、通算0勝3敗で第4位となりました。

女子 予選リーグで益田中、高津中と対戦。ともに0-2で敗れ、予選リーグ敗退となりましたが、声を掛け合い最後までボールを追いました。



7月の主な行事予定 ※詳細な日程については、別途配布する学年便り等でご確認ください。

・1日 避難訓練(引き渡し訓練を含む) ・2日～3日 期末テスト ・3日 3年生進路説明会(柿木中にて)

・7日 学校評議員会 ・9日～10日 三者面談(3年)、個人懇談(1・2年) ・14日 染色体験(1年)

・15日 校内弁論大会(授業公開日) ・16日 吉賀高アントレ発表会 ・17日 1学期終業式

